

急須でいれたら「おいしい」

東京都板橋区立赤塚小学校で4日、総合的な学習の時間で4年生の児童が急須での茶のいれ方を学ぶ授業があった。飲料メーカーの伊藤園（東京・渋谷区）が協力。自分たちで摘んだ茶葉でいれた茶を

小学生が「茶育」体験

飲むと、児童の「おいしい」という声が響いた。この取り組みは、音楽の授業で昨年度、「茶摘み」（文部省唱歌）を学習したのがきっかけ。当時、翌年度に茶摘み体験を実施することが既に決まっていたという。

企業などと連携したこの取り組みは、音楽教育活動に力を入れたと考えていた同校。外部連携の取り組みについて、「茶摘み」指導に茶摘み体験を実施する。授業ではまず、伊藤園の担当者から茶の歴史や成分、主な産地などについて説明を受け、自分たちで摘んだ茶葉でいれた茶を飲むという。児童から「おいしい」という声があふれた。

伊藤園は、茶の歴史や成分、主な産地などについて説明を受け、自分たちで摘んだ茶葉でいれた茶を飲むという。児童から「おいしい」という声があふれた。



今年5月には実際に、学校の近隣にある急須を使って茶を注ぐ児童14日、板橋区立赤塚小で